

令和6年度決算と令和7年度上半期予算執行の状況

市の財政がどうなっているのか、皆さんに納めていただいた市税などがどのように使われたのかを知るために、毎年6月と12月に財政状況を公表しています。

令和6年度決算の詳細は、市HPの『決算の概要』および『財政白書』をご覧ください。
※各表の数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計額が総合計額と一致しない場合があります。

▶財政課 042-460-9802

決算状況

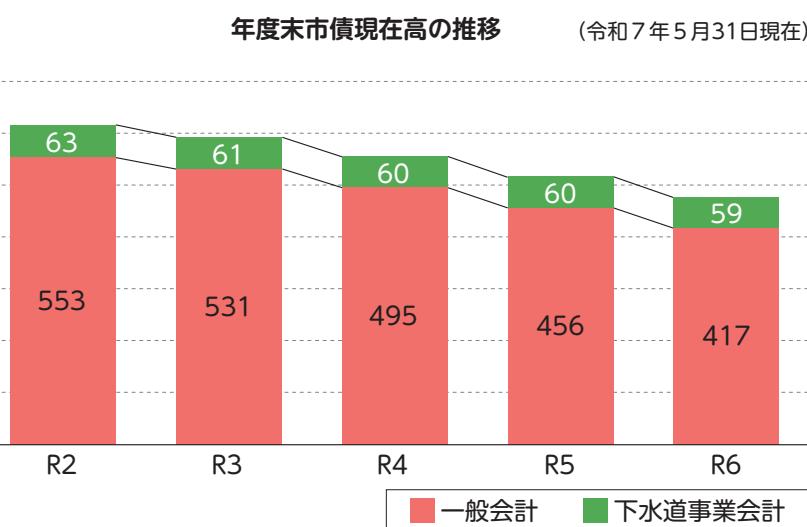
市債の状況

	令和5年度末現在高(A)	令和6年度借入額(B)	令和6年度元金償還額(C)	令和6年度末現在高(A)+(B)-(C)
一般会計	456億2,996万円	6億8,040万円	45億6,637万円	417億4,399万円
下水道事業会計	60億1,948万円	2億8,740万円	3億6,063万円	59億4,625万円
合計	516億4,944万円	9億6,780万円	49億2,700万円	476億9,024万円

市債の令和6年度末現在高は、一般会計は、前年度末から38億8,597万円減となりました。下水道事業会計は、前年度末から7,323万円減となり、市全体では前年度末から39億5,920万円減の476億9,024万円となりました。

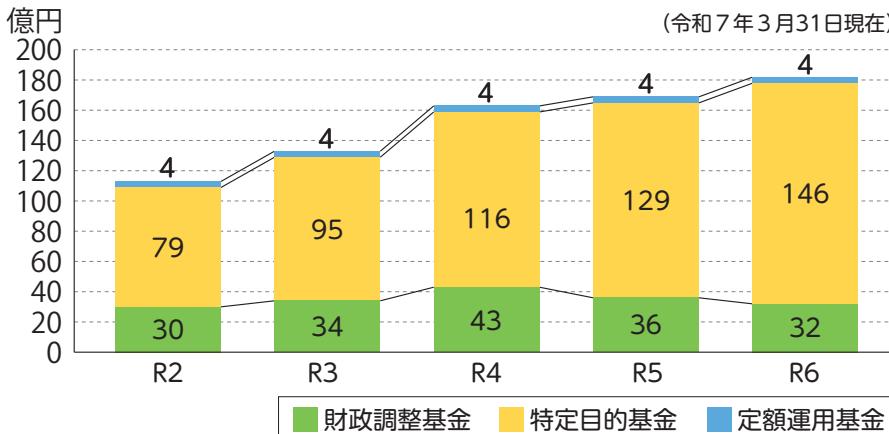
市債残高は前年に引き続き減となりましたが、今後、公共施設やインフラの更新などの金額の大きな借入れもあるため、さまざまな指標を用いて、適正な借入れや水準を保っていく必要があります。

なお、元利償還金等の負担が市の財政規模に対して適正かどうかを把握するための指標である公債費比率は4.5%、実質公債費比率は2.7%となっており、いずれも適正な水準を保っています。



基金状況

特定目的基金は増加しましたが、財政調整基金は減少しました。



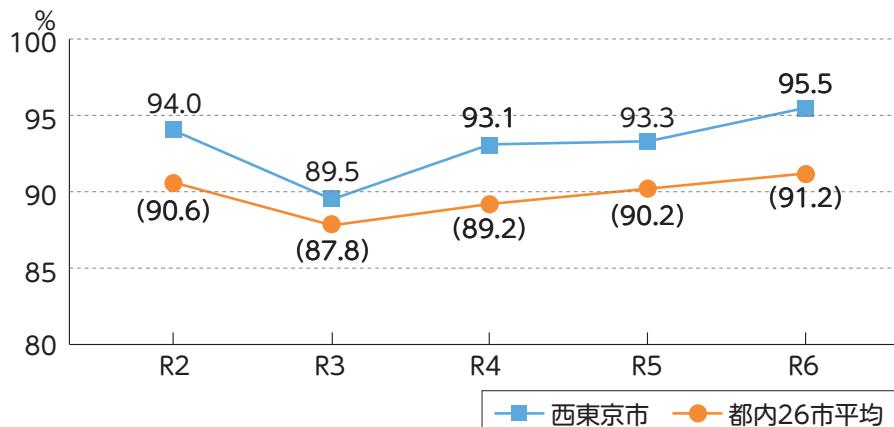
令和6年度末(令和7年3月31日現在)の基金は、前年度より12億6,611万円増の182億7,681万円となりました。

年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金は、前年度より4億4,320万円減の32億335万円となりました。

特定目的基金は使い道が定められている基金であり、令和6年度においても各々の目的に応じて積み立てや取り崩しを行いました。主に、都市計画税の収入が都市計画事業費を上回った分を、都市計画事業基金へ積み立てたため、特定目的基金全体の令和6年度末現在高は、前年度より17億922万円増の146億2,430万円となりました。

経常収支比率の推移

前年度に比べ2.2ポイント上昇しました。



※()内は、都内26市平均を示しており、東京都市町村普通会計決算の概要(東京都総務局)による加重平均値を用いています。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を示す指標です。この比率が低いほど市が自由に使うことができる財源が多く、新たな市民ニーズに対応する余力があるといえます。

令和6年度の経常収支比率は、前年度から2.2ポイント上昇しました。分母にあたる株式等譲渡所得割交付金や地方消費税交付金などの税連動交付金や地方特例交付金等が増となった一方で、分子にあたる人件費や物件費等も増となった結果、分子の増加率が分母の増加率を上回ったことが理由です。

国民健康保険事業の現況

決算の状況

令和6年度国民健康保険特別会計の決算額は、歳入が196億3,642万円、歳出が193億3,910万円となり、差し引き2億9,732万円で、形式上は黒字となりました。しかし、国民健康保険特別会計は毎年、財源不足を一般会計からの繰入によって補填している赤字財政で、令和6年度は23億1,138万円の繰入を行っており、厳しい財政状況となっています。

歳入 都支出金(124億3,832万円…63.3%)、国民健康保険料(36億3,402万円…18.5%)、一般会計繰入金(32億9,185万円…16.8%)が主な財源で、全体の98.6%を占めています。なお、一般会計繰入金の中には、赤字補填としての法定外繰入金が含まれています。

一般会計繰入金の状況 一般会計繰入金には、「法定内繰入金」と「法定外繰入金」があります。法定内繰入金は、法で定められた保険料軽減に伴う財源の補填分、出産育児一時金および事業運営に必要な事務的経費に充てるもので、令和6年度は9億8,047万円です。

一方、法定外繰入金は、保険料の負担緩和などのために充てるもので、令和6

▶保険年金課 042-460-9821

年度は、令和5年度に比較し2億1,406万円増の23億1,138万円となり、1世帯当たり2万2,471円の負担となっています。

歳出 保険給付費(121億2,548万円…62.7%)、国民健康保険事業費納付金(65億4,452万円…33.8%)で、全体の96.5%を占めています。

加入者の医療費状況 一般被保険者の加入者数は年平均3万7,178人、医療費総額は143億318万円、1人当たりの医療費は年間38万4,721円となっています。

本市の国民健康保険事業は、医療給付費などの歳出に対応する財源の確保が難しくなってきており、引き続き厳しい財政状況となっています。

加入者の皆様ご自身が健康管理に努めていただくとともに、厳しい財政状況の折、保険料の納付にご協力をお願いします。

年末！事故多発注意！

年末にむけて交通事故が多発します。

飲酒運転禁止

忘年会などで飲酒の機会が増える年末は飲酒運転や路上寝込みによる事故が懸念されます。車はもちろん自転車も飲酒運転は絶対に禁止です。「飲んだら乗らない」「飲み過ぎない」を徹底し、一人ひとりが「飲酒運転をしない・させない・許さない」意識を持ちましょう。

▶田無警察署 042-467-0110 ▶交通課 042-439-4435

夕暮れ時は要注意

夕暮れ時から夜にかける時間は帰宅下校時間帯に重なり事故が多発します。ドライバーの方は早めのライト点灯とハイビームを上手に活用し、速度を落として走行しましょう。歩行者の方は自身の存在を知らせるために有効な反射材を身につけ、明るい服装を心掛けましょう。

